

カルテ番号 ( ) 月日 / / / / / /  
 患者氏名 ( )

<b>Depth*1 深さ</b> 創内の一番深い部分で評価し、改善に伴い創底が浅くなった場合、これと相応の深さとして評価する										
d	0	皮膚損傷・発赤なし	D	3	皮下組織までの損傷					
				4	皮下組織を超える損傷					
	1	持続する発赤		5	関節腔、体腔に至る損傷					
				DTI	深部損傷褥瘡 (DTI) 疑い*2					
	2	真皮までの損傷		U	壊死組織で覆われ深さの判定が不能					
<b>Exudate 滲出液</b>										
e	0	なし	E	6	多量：1日2回以上のドレッシング交換を要する					
	1	少量：毎日のドレッシング交換を要しない								
	3	中等量：1日1回のドレッシング交換を要する								
<b>Size 大きさ</b> 皮膚損傷範囲を測定：[長径 (cm) × 短径*3 (cm)] *4										
s	0	皮膚損傷なし	S	15	100以上					
	3	4未満								
	6	4以上 16未満								
	8	16以上 36未満								
	9	36以上 64未満								
	12	64以上 100未満								
<b>Inflammation/Infection 炎症/感染</b>										
i	0	局所の炎症徴候なし	I	3C*5	臨界的定着疑い (創面にぬめりがあり、滲出液が多い。肉芽があれば、浮腫性で脆弱など)					
	1	局所の炎症徴候あり (創周囲の発赤・腫脹・熱感・疼痛)		3*5	局所の明らかな感染徴候あり (炎症徴候、膿、悪臭など)					
				9	全身的影響あり (発熱など)					
<b>Granulation 肉芽組織</b>										
g	0	創が治癒した場合、創の浅い場合、深部損傷褥瘡 (DTI) 疑いの場合	G	4	良性肉芽が創面の10%以上50%未満を占める					
	1	良性肉芽が創面の90%以上を占める		5	良性肉芽が創面の10%未満を占める					
	3	良性肉芽が創面の50%以上90%未満を占める		6	良性肉芽が全く形成されていない					
<b>Necrotic tissue 壊死組織</b> 混在している場合は全体的に多い病態をもって評価する										
n	0	壊死組織なし	N	3	柔らかい壊死組織あり					
				6	硬く厚い密着した壊死組織あり					
<b>Pocket ポケット</b> 毎回同じ体位で、ポケット全周 (潰瘍面も含め) [長径 (cm) × 短径*3 (cm)] から潰瘍の大きさを差し引いたもの										
p	0	ポケットなし	P	6	4未満					
				9	4以上16未満					
				12	16以上36未満					
				24	36以上					
部位 [仙骨部、坐骨部、大転子部、踵骨部、その他 ( )]						合計*1				

\*1 深さ (Depth : d/D) の点数は合計には加えない

\*2 深部損傷褥瘡 (DTI) 疑いは、視診・触診、補助データ (発生経緯、血液検査、画像診断等) から判断する

\*3 "短径" とは "長径と直交する最大径" である

\*4 持続する発赤の場合も皮膚損傷に準じて評価する

\*5 「3C」あるいは「3」のいずれかを記載する。いずれの場合も点数は3点とする